

第9回東アジア首脳会議(EAS)参加国外相会議

議長声明(骨子)

令和元年8月3日

【東アジア首脳会議(EAS)のレビュー及び将来の方向性】

●「EAS10周年記念クアラルンプール宣言(KL宣言)」に沿い、またEASの確立された原則、目的及びモダリティに基づき、地域の平和、安定及び経済的繁栄を促進するという目的の下、共通の関心及び懸念事項である、幅広い戦略、政治及び経済上の共通の関心及び懸念事項に関する対話を行う首脳主導のフォーラムとして、EASを更に強化していくことに対するコミットメントを再確認。(パラグラフ2)

●EASが開放的、包摂的で、透明かつ外に目を向けたものであり続けること及びEASにおけるASEANの中心的役割を再確認し、EASが進化するASEAN中心の地域枠組みの不可欠な構成要素であり続けることを確保するため、全てのEAS参加国と緊密なパートナーシップの下で協力していくことに対するASEANのコミットメントを再確認。国際法に基づく多国間主義及び国際秩序の強化におけるEASの役割の重要性を強調。(パラグラフ3)

●急速に変化する地域及び国際の展望の需要に対応する際のEASの妥当性及び有効性を確保するためにEASを一層強化することの必要性を強調。戦略的信頼を再強化し、相互信頼、互恵及び相互尊重に基づいて、実務的な協力を通じたものを含め、共通の課題への対処を追求するために、EASにおいて首脳間で戦略的な問題についての自由で建設的な議論が行われることの重要性を認識。また、ジャカルタのEAS大使級会合(EAMJ)が地域の開発協カイニシアティブ並びに安全保障政策及びイニシアティブに関する意見交換並びに地域の安全保障枠組みに関する議論を継続していることに留意。(パラグラフ4)

●首脳の決定やイニシアティブの実施の確保及びEAS協力の強化に係るEAS作業プロセスを強化するための継続的な取組を歓迎。会期間を含め、首脳の決定を実効的にフォローアップする重要性を認識。EASの分野における協力を調整、監視、促進するに当たってのEAS高級実務者会合、EAMJ及びASEAN事務局内のEASユニットの重要な役割に対する支持を表明。EAMJにASEAN事務局の新たな本部をEAS関連の会議を活用し、その全ての業務をジャカルタにて行うことを励行。(パラグラフ5)

【協力分野】

●「EAS開発イニシアティブに関するプノンペン宣言の推進のためのマニラ行動計画(2018

ー2022)」の下でのEASの活動, プログラム及び協力の実施における順調な進展を確認。EAS参加国との緊密な協議及びEAS参加国の支援の下, EASのメカニズム並びに関連するASEAN分野別組織及び既存の地域枠組みを通じた同行動計画の適時かつ実効的な実施に期待。(パラグラフ6)

(環境及びエネルギー):略

(教育):略

(金融):略

(国際保健及び感染症):略

(防災)

●ASEAN災害緊急対応シミュレーションや年1回の防災に関するASEAN戦略政策対話を含むASEAN主導の活動・プロジェクトへの参加を通じた, ASEAN防災委員会(ACDM)と非ASEANのEAS参加国の防災機関との関与の強化を奨励。(パラグラフ15)

(ASEAN連結性)

●地域の連結性の強化に当たっての「ASEAN連結性マスタープラン2025(MPAC2025)」の実効的な実施の重要性を強調。地域における重要な連結性に関する戦略間のより大きなシナジーを創出し, 地域における貿易, 投資及びサービスの競争性を促進するために東アジアにおいて国際スタンダードに従って持続可能で質の高いインフラを促進することの必要性を再確認。(パラグラフ16)

●また, MPAC2025の5つの戦略分野((i)持続可能なインフラ, (ii)デジタル・イノベーション, (iii)シームレスな物流, (iv)規制上の優位, (v)人的機動性)の実施を前進させるためにASEAN連結性調整委員会(ACCC)と非ASEANのEAS参加国との間の一層の協力及び関与を奨励。(パラグラフ17)

(経済協力及び貿易)

●ルールに基づく多国間貿易体制並びにビジネス環境の透明性及び予測可能性の向上を通じて市場を開放的で, 包摂的で競争的なものとするとのEAS首脳のコミットメントを再確認。EAS参加国間の経済関係の強化及び台頭する地域の経済枠組みにおけるASEANの中心的な役割の重要性を再確認。地域の経済統合を一層強化するためにEAS参加国が直面する共通の経済的課題に関する更なる対話を励行。(パラグラフ18)

●EAS参加国間の継続する貿易及び投資の拡大に勇気づけられ、このモメンタムを維持するためのより高い確実性及び後ろ支えする政策の必要性に留意。RCEP交渉を年内に妥結させ、現代的で、包括的な、質の高い、かつ互恵的なRCEPを創出するための強化された取組を確認。(パラグラフ19)

●ASEAN及び東アジアにおける経済統合、開発格差是正、持続可能な発展の実現及び地域の保健福祉制度の強化に関する研究の深化への東アジア・ASEAN経済研究センター(ERIA)の貢献を賞賛し、ERIAに対し、地域が直面する課題を強調し、対処するようなトピックに関する的を絞った質の高い研究の継続を励行。(パラグラフ20)

(食料安全保障):略

(海洋協力)

●拡大ASEAN海洋フォーラム拡大会合(EAMF)、ASEAN地域フォーラム(ARF)、ASEAN防衛大臣会合(ADMM)及び拡大ASEAN防衛大臣会合(ADMMプラス)などのASEAN主導のメカニズムを通じたものを含む、「地域の海洋協力強化に関するEAS声明」及びマニラ行動計画に沿ったEAS参加国間の海洋協力の強化に対する支持を表明。(パラグラフ22)

(その他)

●情報通信技術(ICT)及びその使用のセキュリティの一層の重要性を強調し、開放的で、安全で、安定的で、利用しやすく、強靱で、平和的なICT環境を推進し、国家間の信用及び信頼の醸成並びに能力構築を通じて紛争や危機を予防することの必要性を再確認。(パラグラフ25)

●EASにおいて、伝統的・非伝統的安全保障問題に関する議論が一層強調されてきていることを確認。この関連で、関連するEASの首脳による声明及び宣言を実施するとのコミットメントを再確認。(パラグラフ26)

(ラカイン州)

●ラカイン州における複雑な情勢を議論し、ミャンマーによる説明に留意し、ミャンマーによるラカイン州の人道状況への対処、帰還プロセス及び持続可能な成長に向けた強化され目に見えるASEANの役割に対する支持を表明した。避難民の安全で、確かで、尊厳のある形での自発的な帰還を促進するための帰還プロセスの重要性を強調。対立の根本原因に対処するための包括的で恒久的な解決策を見出し、ラカイン州の影響を受けたコミュニティが生活を

復興するための環境を作ることの必要性を強調。(パラ27)

【地域及び国際情勢】

(北朝鮮)

●非核化された朝鮮半島の恒久的な平和と安定を実現するため、全ての当事者による継続した平和的な対話の重要性を強調。北朝鮮との持続的な対話を確立するための韓国、米国、ロシア及び中国による取組を歓迎。2019年6月30日に朝鮮半島の非武装地帯(DMZ)において行われたドナルド・トランプ米国大統領と金正恩朝鮮民主主義人民共和国国務委員長との面会を歓迎し、交渉の再開に期待。北朝鮮に対し、北朝鮮が表明した完全な非核化へのコミットメント並びに更なる核及びミサイルの実験を自制するとの約束を履行することを求めた。全ての当事者に対し、平和的な対話を継続又は再開するとともに、板門店宣言文、米国と北朝鮮の首脳による共同声明及び平壤共同宣言の完全かつ迅速な実施を通じたものを含む、非核化された朝鮮半島の恒久的な平和と安定の実現に関する前進に向けて協働することを求めた。全ての国連加盟国による全ての関連する国連安保理決議の完全な履行及び朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組へのコミットメントを改めて表明。複数の閣僚が、拉致問題の解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を強調。(パラ28)

(南シナ海)

●南シナ海における平和、安全保障、安定、安全並びに航行及び上空飛行の自由を維持・促進することの重要性を再確認するとともに、南シナ海を平和、安定及び繁栄の海とすることの利益を確認。南シナ海行動宣言(DOC)全体の完全かつ実効的な履行の重要性を強調。ASEANと中国との間の協力関係が改善していることを温かく歓迎し、相互に合意されたタイムラインに沿った実効的、かつ、実質的な南シナ海における行動規範(COC)の早期妥結に向けた実質的な交渉の進展に勇気づけられた。COC交渉テキストの第一案に関し、本年の予定より早い第1読の完了を歓迎。COC交渉に資する環境を維持することの必要性を強調し、したがって、緊張を緩和し、事故、誤解、誤算のリスクを減少させ得る有用な措置を歓迎。特に当事者間の信用及び信頼を強化する信頼醸成及び予防措置の実施の重要性を強調し、国連海洋法条約(UNCLOS)を含む国際法を遵守することの重要性を再確認。(パラ29)

●南シナ海に関する事項について議論の上、信用及び信頼を損ない、緊張を高め、また、この地域における平和、安全及び安定を損ない得るこの区域での埋立てや活動に対する懸念に留意。相互の信用及び信頼を高め、活動の実施に当たって自制し、状況を更に複雑化させ得る行動を回避し、UNCLOSを含む国際法に従って、紛争の平和的解決を追求すること

の必要性を再確認。非軍事化及びDOCにおいて言及された事項を含む、南シナ海における状況を更に複雑化し、緊張を高め得るクレイマント国やその他の国による全ての活動における自製の重要性を強調。(パラ30)

(暴力的過激主義・急進化・テロ対策)

●様々な国で発生した最近のテロ攻撃を強く非難し、暴力的過激主義、急進化及びテロと闘うことへのコミットメントを再確認。これらの脅威に取り組むために、包括的な態様、かつ、この問題に関するEAS声明の実施に合致した形で、EAS協力を強化する重要性を強調。(パラグラフ31)

(地域枠組み)

●進化する地域枠組みにおけるASEAN中心性に対する支持を再強調し、ASEAN中心性の強化、開放性、透明性、包摂性及びルールに基づく枠組み、グッド・ガバナンス、主権の尊重、不干渉、既存の協力枠組みとの補完性、平等、相互尊重、相互信頼、互惠及び国際法の尊重といった原則並びに東南アジア友好協力条約が包含する原則に基づく、インド太平洋に関するASEANアウトルックを高く評価しつつ、留意。同アウトルックが、ASEANが、平和、安定、自由及び繁栄に貢献するためにアジア太平洋及びインド洋地域に関与するための指針となることを認識。既存のASEAN中心の枠組みを通じて、アウトルックに明記された分野における関与及び互恵的な協力を促進するためにASEANと協働すること、また、適切な他の地域メカニズムとの間で相互の関心分野における協力を追求することへの関心があることを表明。(パラグラフ32)

(了)